

■令和３年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

No.	補助 単独	実施計画No.	事業名称	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費 （実績額） （円）	臨時交付金充 当額 （円）	一般財源 （円）	事業の実施状況 （事業開始～完了までの経緯・経過）	事業の成果 （補助件数・金額、施設数、備品等 購入数など）	効果検証方法等 ①効果検証の方法 ②事業の効果	事業の評価	
														A：非常に効果的であった B：効果的であった C：あまり効果的でなかった D：効果的ではなかった	評価の理由
1	単	1	公共施設感染症予防対策事業	財政課	①A1サーマルカメラ、空気清浄機設置及び水道蛇口のレバーハンドル化などを行うことにより、感染症予防対策を行い、施設利用者及び施設勤務者が感染するリスク低減につなげるとともに、今後の感染拡大に備える。 ②A1サーマルカメラ、フタタッチレバーハンドル、空気清浄機などの購入 ③A1サーマルカメラ 2,280千円（570千円×4台） フタタッチレバーハンドル 3,168千円（1760千円×1,800個） 空気清浄機 700千円（100千円×7台） その他必要な物資、感染予防対策品等 852千円 ④A1サーマルカメラ市役所2台、三友スナック体育文化センター2台 フタタッチレバーハンドル小中学校8校を含む市内公共施設合計60施設 空気清浄機市役所7台 物資・備品等については、市内公共施設各所に配備	R3.4	R4.3	7,189,072	7,100,000	89,072	R3.4.26 入札（A1サーマルカメラ①、レバー式蛇口ハンドル①） R3.5.6 見積（水道蛇口ハンドル交換） R3.5.7 納入（レバー式蛇口ハンドル①） R3.5.12～6.4 実施（水道蛇口ハンドル交換） R3.5.26 見積（レバー式蛇口ハンドル②） R3.5.28 納入（A1サーマルカメラ①） R3.6.3 納入（レバー式蛇口ハンドル②） R3.7.1 入札（A1検温モニター） R3.7.6 納入（A1検温モニター） R4.1.27 見積（除加湿空気清浄機、A1サーマルカメラ②） R4.2.9 発注（抗原検査キット） R4.2.15 納入（除加湿空気清浄機、抗原検査キット） R4.2.28 納入（A1サーマルカメラ②）	A1サーマルカメラ：4台 レバー式蛇口ハンドル：1,800個 A1検温モニター：1台 除加湿空気清浄機：7台 抗原検査キット：100個	①県が公表している集団感染（クラスター）発生状況 ②市の公共施設における事業実施以降のクラスター発生は0件（保育園1施設のクラスターは、事業実施前のR3.4.15に公表）	A	公共施設にサーマルカメラ、検温モニター、空気清浄機、レバー式蛇口ハンドル、抗原検査キットを配備したことで、クラスター発生の抑制につながり、施設利用者及び施設勤務者の感染リスクを低減した。
2	単	2	マスク・消毒液等整備事業	庶務課	①市が、緊急時に提供するマスク・消毒液、その他感染予防に必要な物資等を備蓄し、引き続き市民の感染予防対策の充実を図る。 ②③ マスク 800千円（8円×約100,000枚） 消毒液（1ℓ） 480千円（1,200円×約400本） その他必要な物資等 706千円 ④市内関係機関等	R3.4	R4.3	1,503,806	1,400,000	103,806	R3.12～R4.2 マスク随時購入 R3.4～R4.3 手指消毒液随時購入 R3.11～R4.2 テント式パーティティ随時購入 R3.5～R4.1 ユニフォーム、足踏み消毒スタンド等各種物品購入	マスク支援施設：94施設 マスク購入数：126,000枚 消毒液購入数：328本 ハイター：47本 足踏み消毒スタンド：2脚 テント式間仕切り：5組 ユニフォーム：100組 カレ容器：45個 手動灯油ポンプ：7本	①新型コロナウイルス感染者数 ②感染者数が抑制された	B	公共施設等にマスクを無償配布したことで、感染者の抑制につながり、市民の不安を和らげた。
3	単	3	自動釣銭機付レジスター整備事業	市民生活課	① 各証明書レジスターを自動釣銭機に更新することで、接触機会の低減と衛生面を確保し、感染予防対策を図る。 ② 自動釣銭機付きレジスターの購入整備費等 ③ カウンターの増設：66千円 ハードウェアの保守業務：110千円 レジスター：1,209千円 ④ 市民や各証明書の交付を受ける者	R3.4	R3.9	1,149,500	1,000,000	149,500	R3.5.24 入札 R3.5.24 契約 R3.8.25 納品・検収	レジスター 1台 硬貨・紙幣自動釣銭機 1台	①市民生活課窓口担当職員の感染状況 ②市民生活課窓口担当職員の感染は発生しなかった。	A	証明書等の交付を受けた市民の方と直接硬貨・紙幣の授受を要しないこととなったことから、接触の機会が減り、感染リスクの低減に繋がった。
4	単	4	保育園空調設備工事	子ども子育て課	①遊戯室にエアコンを設置することで分散保育を可能にし、年間をとおし、感染症対策である保育室内の密を解消することを目的とする。 ②工事請負費 ③天井埋込式パッケージ型エアコン（4方向吹出） 1,089千円×4台（2間×2台）：4,356千円 電気工事、諸経費等：3,574千円 ④園児、保育士	R3.5	R3.7	6,545,000	6,400,000	145,000	R3.5.24 入札 R3.5.24 契約 R3.7.30 納品・検収 R3.8.10 検査 R3.8.17 引受	パッケージエアコン 4台 （内訳） みなみ保育園遊戯室 2台 しらさぎ保育園プレイルーム 2台	①保育園の園児及び保育士の感染状況 ②遊戯室等へのエアコン設置により、分散保育が可能になり密が解消され、それ以降クラスターが発生しなかった。	A	遊戯室等にエアコンが設置され温度調節ができることで年間を通して使用の幅が広がり、各年齢ごとの保育室との分散保育が可能になり、保育室内の密が解消されクラスターの発生がなくなるなど、感染対策と快適な保育環境が整備されたため。
5	単	5	斎場空調設備工事	市民生活課	①斎場待合室、待合ホールの空調設備を空気清浄機付きに更新し、衛生的で安全な空間を保持する。 ②委託料1,100千円、工事請負費5,500千円。 ③委託料 直接人件費（設計業務9人×32,700円、施工監理業務4人×32,700円）＋諸経費＋技術料等経費＋消費税 工事請負費 直接工事費（一式3,313,940円）＋共通仮設費＋現場管理費＋発生材処分費＋一般管理費＋消費税 ④経塚斎場待合ホール、待合室A、B	R3.4	R3.11	6,039,000	5,900,000	139,000	【工事設計業務】 R3.5.28 入札 R3.5.28 契約 R3.7.2 業務完了・納品 R3.7.2 検査・引受 R3.7.27 入札 R3.7.27 契約 R3.10.29 完成 R3.11.9 検査 R3.11.11 引受	天井埋込カセット型エアコン 待合ホール 1台 廊下 1台 壁掛型エアコン 待合室 2台	①斎場利用者及び火葬従事者の感染状況 ②空気清浄機能や換気機能が改善できたことにより、斎場利用者及び火葬従事者に感染は無かった。	A	空気清浄機能を備えた空調設備に更新された事で、利用者が及び火葬従事者に感染が発生せず、施設の継続的運営ができた。
6	単	6	健康事業感染予防対策事業	健康推進課	①安全安心に健康教室を実施するために自動検温測定器、自動消毒スタンドを設置し、感染予防対策を徹底する。 ②備品購入費 412千円 ③A1検温モニター 280千円×1台＝280千円 自動消毒スタンド33千円×4台＝132千円 ④対象者：健康診査、乳幼児健康診査、各種健康教室等参加者 対象施設：保健センター	R3.4	R4.3	267,600	217,000	50,600	【A1検温モニター】 R3.7.1 入札 R3.7.1 契約 R3.7.6 納品・検査 【自動消毒】 R3.11.15 発注同 R3.11.18 納品・検査	A1検温モニター 1台 自動消毒（スタンド型） 1台 （卓上型） 3台	①健康診査・乳幼児健康診査・各種健康教室参加者の集団感染、従事者感染状況 ②参加者の集団感染及び従事者の感染は無かった。	A	保健センターへの非接触型体温計（A1検温モニター）、自動消毒スタンドの設置により、施設利用者及び従事者に対する感染拡大防止対策ができた。
7	単	7	キャッシュレス決済ポイント還元事業	商工課	①非接触型取引による新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資するとともに、感染症の影響を受けている中小企業者及び小規模企業者に対し、委託事業者をとおして、市内事業者に対する消費を喚起するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施する。 ②委託費 31,502千円、印刷製本費175千円、通信運搬費50千円、広告料608千円 ③委託費 ポイント還元分28,362千円、販促費3,140千円 ④山上市内事業所でキャッシュレス決済による購買行動を行った方	R3.4	R3.7	32,334,844	32,000,000	334,844	R3.4.21 ペイメント事業者と契約 R3.6.1 キャンペーン開始 R3.7.31 キャンペーン終了	導入店舗、屋号数 346店舗 導入額 176,379,522円 ポイント還元額 28,361,757円	①ポイント還元に係る報告書及び事業者、利用者向けアンケート ②1億8千万円を超える経済効果とキャッシュレス決済の普及促進が図られた。	A	高い経済効果とキャッシュレス決済の普及促進が図られた。
8	単	8	設備投資促進事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて売上が減少している事業者が、感染症拡大期又は収束期における新たな需要を獲得するため、三密を避けるような新たなビジネスモデルの展開、感染症の拡大又は収束に対応した新製品・新技術の量産化、又は雇用を維持しつつ感染症リスクを低減する製造工程、サービス提供体制の改善等に必要な設備投資を行う場合に、その費用について補助する。 ②下記ア～ウのいずれかの目的並びに事業に供する、1件1,000千円（仮換）以上で有形の設備投資に要する経費の2分の1、上限5,000千円 ア 新たな業種展開を図るための設備 イ 新製品、新技術の開発等を図るための設備 ウ 雇用維持と関連した感染リスクの低減を図るための設備 ③5,000千円×約9件 ④市内に本社又は事業所を持つ法人又は個人。ただし、市が補助することが適当でない業種を除く。	R3.4	R4.3	36,514,000	35,966,000	548,000	R3.5.14 事前相談受付開始、HP等にて周知 R3.6.1 申請受付開始 R3.12.28 申請受付終了 R3.3.25 事業完了	補助件数11件 交付金額36,514千円	①R4.12に交付事業者へのアンケート調査を実施 ②交付事業者11社中9社から回答があり、補助金が役に立ったと回答した事業者が100%、補助金を使って売上が伸びた事業者が66.7%、経常利益が伸びた事業者が44.4%（変化なしが44.4%）であった	B	市内事業者の設備投資を後押しすることができ、売上及び経常利益の増加につながった。
9	単	11	上山城トイレ改修工事	観光・ブランド推進課	①コロナ禍においても感染リスクを避け、県内外からの観光客に安全安心に上山城を利用してもらうため。 ②上山城トイレ改修工事費 ③工事請負費一式：2,708千円 大便器洋式化ふた付き抗菌便座：3基 小便器水洗自動感知器への交換：5基 手洗い場自動感知器への交換：10基 ④上山城及び同第一広場	R3.5	R3.10	2,708,200	2,500,000	208,200	R3.5.24 入札 R3.5.26 契約 R3.10.8 完成 R3.10.20 検査 R3.10.20 引受	上山城及び同第一広場 大便器洋式化ふた付き抗菌便座：3基 小便器水洗自動感知器への交換：5基 手洗い場自動感知器への交換：10基	①上山城への聞き取り ②トイレの利用により感染を不安視する観光客や従業員の声は無かった。	A	感染対策を図りながら開館を続けることができた。
10	単	12	小学校ICT化推進事業	管理課	①GIGAスクール構想の更なる推進に向けて、小学校で使用する電子黒板を整備し、新型コロナウイルス感染症の状況下における遠隔学習への有効活用など、新たな時代に相応しい教育の実現を図る。 ②電子黒板の購入（18台） ③500千円×18台＝9,000千円 ④市内全小学校（5校）	R3.5	R3.8	8,735,630	8,600,000	135,630	R3.5.24 入札 R3.5.24 契約 R3.8.2～8.6 各学校に納品 R3.8.6 検査検収 【西郷第一小1台のみ下記のとおり】 R3.4.23 見積合わせ R3.4.23 契約 R3.5.26 学校に納品 R3.5.26 検査検収	上山小 6台 南小 4台 西郷第一小学校 2台 宮川小 1台 中川小 5台 合計 18台	①R4.4度4に学校アンケート調査を実施 ②前年度に教員が大型掲示装置（プロジェクトアー、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったかの問いに対し、週3回以上と答えた割合が75%だった （参考：山形県（公立）74.4%）	A	学校でのICT環境を整備することができ、GIGAスクールの推進につながった。
11	単	13	中学校ICT化推進事業	管理課	①GIGAスクール構想の更なる推進に向けて、中学校で使用する電子黒板を整備し、新型コロナウイルス感染症の状況下における遠隔学習への有効活用など、新たな時代に相応しい教育の実現を図る。 ②電子黒板の購入（10台） ③500千円×10台＝5,000千円 ④市内全中学校（3校）	R3.5	R3.8	4,860,370	4,700,000	160,370	R3.5.24 入札 R3.5.24 契約 R3.8.3～8.5 各学校に納品 R3.8.6 検査検収	南中 4台 北中 4台 宮川中 2台 合計 10台	①R4.4度4に学校アンケート調査を実施 ②前年度に教員が大型掲示装置（プロジェクトアー、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったかの問いに対し、週3回以上と答えた割合が100%だった （参考：山形県（公立）87.4%）	A	学校でのICT環境を整備することができ、GIGAスクールの推進につながった。
12	単	15	図書館感染予防対策事業	生涯学習課	①図書館に来館する利用者の体調を確認し、クラスター発生の防止に努める。 ②常備費 備品購入費 ③型型自動手指消毒器（小1台×4,800円＋大1台×600円）×1.1 スタンド式検温器（1台280,000円） ④図書館（R2年度 入館者 55,969人）	R3.4	R4.3	231,440	217,000	14,440	【図書館来館者衛生環境整備のため購入】 R3.4.19 アルコールディスペンサー購入 R3.7.6 A1検温モニター購入	アルコールディスペンサー 2台 13,640円 A1検温モニター 1台 217,800円	①来館者の感染状況 ②感染防止対策が強化されたことにより、図書館の利用を原因とする感染は無かった。	A	感染リスクを低減することにより、図書館利用者に対する感染拡大防止対策ができた。

No.	補助 単独	実施計画No.	事業名称	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費 （実績額） （円）	臨時交付金充 当 額 （円）	一般財源 （円）	事業の実施状況 （事業開始～完了までの経緯・経過）	事業の成果 （補助件数・金額、施設数、備品等 購入数など）	効果検証方法等 ①効果検証の方法 ②事業の効果	事業の評価	
														A：非常に効果的であった B：効果的であった C：あまり効果的でなかった D：効果的ではなかった	評価の理由
13	単	16	東京オリンピック・パラリンピッ ク事前合宿感染対策事業	スポーツ振興課	①ポーランドの陸連及びパラリンピック委員会による東京オリンピック・パラリンピック2大会の事前合宿に必要な感染対策をするもの ②消毒液等消耗品(1,073千円)体温カメラ等備品(1,370千円) ③消毒液20本×1.5千円=30千円 消毒液スタンド5台×30千円=150千円 マスク10箱×1千円=10千円 フェイスタオル200枚×0.2千円=40千円 ペーパータオル40個×0.2千円=8千円 アクリルパーテーション(中)30台×12.5千円=375千円 非接触型体温計5台×2千円=10千円 ニトリル手袋20箱×1千円=20千円 ペルトパーテーション20本×20千円=400千円 カラーコーン20本×1千円=20千円 アクリルパーテーション(大)5台×50千円=250千円 スタンド式体温カメラ4台×280千円=1120千円 ④蔵王坊平アスリートヴィレッジ	R3.5	R3.8	1,693,652	1,500,000	193,652	【選手団・スタッフ感染防止その他衛生環境整備のため購入（合宿期間7.18～8.25）】 R3.7.6A1 検温モニター4台 871,200円 足踏み式消毒液ポンプスタンド5台 560,450円 R3.7.15足踏み式消毒液ポンプスタンド、アクリルパーテーション（卓上用）、アクリルパーテーション（キャスター付き）30個、ベルトパーテーション20個、アクリルパーテーション（キャスター付き）5台 103,400円 非接触型体温計5個、不織布マスク500枚 42,207円 ニトリル手袋2,000枚 48,290円 三角コーン、コーンベッド30個、消毒液10ℓ 45,210円 フェイスタオル200枚 13,289円 除菌シート180枚、スプレー容器6個、ティッシュペーパー450枚 4,524円	①選手団、スタッフその他関係者のコロナ感染者数 ②事前合宿施設の感染対策環境の向上	A	合宿期間中に、選手団をはじめとした関係者にコロナウイルス感染者を発生させずに、事前合宿を実施することが出来たため。	
14	単	17	安全対策強化経済活動支援金	観光・ブランド推進課	①山形県の新型コロナウイルス対策認証制度を普及させることで感染防止策を徹底させながら、安心安全な経済活動を推進するもの。 ②・山形県新型コロナウイルス対策認証制度取得100千円 ・認証店が実施するプロモーション及び新商品開発等に要する経費支援 実費分（上限100千円） ・役務費 広告料 ③200千円×約100事業所 ④中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業のうち、市内に本社又は事業所を持つ法人又は個人、かつ、山形県新型コロナウイルス対策認証店（飲食店及び飲食部門をもつ宿泊施設等）	R3.4	R3.12	16,822,142	12,700,000	4,122,142	R3.8.2 申請受付開始 R4.2.28 申請受付終了 R4.3.15 事業完了	県認証制度取得による交付件数127件 新商品・新ブランド・プロモーションに対する交付件数 40件	①交付事業者へのアンケート調査を実施 ②アンケート回答のあった半数近くの交付事業者は、この補助金をきっかけに安全対策を実施した経済活動を進めることができた。	A	市内の多くの飲食店等で県の制度にのっとった安全対策を講じた経済活動を展開でき、安心安全な観光地域を創ることができた。
15	単	18	保健センタートイレ改修工事	健康推進課	①今回整備を実施する保健センターは、市で中核となる保健機能を担う唯一の公共施設であり、健康診断等の利用をはじめとし、多くの不特定多数の人が利用しているため、施設としての機能面及び衛生面を強化し、また、非接触型器具等（自動洗浄小便器、自動水栓式の洗面器・手洗器）を導入し感染症対策を図るとともに、利用者が安心・安全に使用できるよう改修を行い、施設の機能強化の促進を図るもの。 ②保健センタートイレ等改修工事費 ③工事請負費一式20,000千円 大便器洋式化（温水洗浄抗菌便座付）：8基 自動洗浄小便器へ交換：4基 車いす対応便器（リモコン式温水洗浄便座付）へ交換：1基 洗面器・手洗器の自動水栓化：5基 トイレフロアーを嵩上げし段差解消 トイレ内照明のLED化 玄関スロープ内部改修・外部増設 他 内、R2予算分で16,000千円充当、実施計画№21へR3予算分として4,000千円充当。 ④上山市保健センター	R3.11	R4.3	16,000,000	16,000,000		R3.11.22 入札 R3.11.24 契約 R4.2.10 変更契約 R4.3.11 完成 R4.3.23 検査・引受	洋式大便器（温水洗浄抗菌便座付）：8基 自動洗浄小便器：4基 車いす対応便器（リモコン式温水洗浄便座付）：1基 洗面所の自動水栓化：5基 トイレフロアーを嵩上げし段差解消 トイレ内照明のLED化 玄関スロープ内部改修・外部増設 他	①利用者及び従事職員等の感染状況 ②感染防止対策が強化されたことにより、保健センターの利用を原因とする感染は無かった。	A	感染リスクを低減することにより、施設利用者及び従事者に対する感染拡大防止対策ができた。
16	単	19	稲作経営緊急支援事業	農林夢づくり課	①新型コロナウイルス感染症の影響による米価下落で収入が減少した稲作農家に対して、次期作に向けた経費を支援することで、営農意欲と農業生産の維持・向上を図る。それによって、稲作農家の営農継続と生産の目安達成による米の生産調整が期待できる。 ②農業再生協議会が稲作農家に対し交付金（米生産に係る種苗・肥料代の一部）を支給するのに要する経費、事業実施に係る事務費（需用費、役務費、委託費） ③対象者の水稲作付面積580ha×2,000円（10a当たり）＝11,600千円、その他事務費400千円 ④令和3年度を生産・販売し生産の目安に協力し、かつ、R4に水稲栽培を行い生産の目安に協力する意向のある稲作農家	R3.12	R4.3	10,921,190	10,800,000	121,190	R4.1.5 交付要綱制定・申請受付開始 R4.1.7～ お知らせ開始 R4.2.25 振込開始 R4.3.1 事業完了	補助件数1（参加農業者507人）、事業費10,816,800円	①水稲共済細目書により事業継続を確認 ②支援対象者の営農が継続された	A	米価下落に対して、稲作農家の事業継続のため支援を行い、営農意欲の向上を図り次年度の営農継続へ繋がった
17	単	20	子育て世帯臨時特別給付金事業	福祉課	①令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金（令和3年11.19閣議決定）の交付対象外となる現に新型コロナウイルス感染症の影響を受けている所得制限超過世帯及び給付対象判定基準以降に離増したため、給付金を受給できないひとり親家庭について、市独自で対象を拡充し、子育て世帯を支援するもの。 ②18歳以下の児童のいる子育て世帯への給付金100千円。児童1人 ③8,000千円（児童1人あたり100千円×対象児童数80人） ④令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金の交付対象外となる所得制限超過世帯及び給付対象判定基準以降に離増したため、給付金を受給できないひとり親家庭	R4.1	R4.3	6,900,000	6,900,000		R4.1.12 市独自制度給付のお知らせ発送 R4.1.21～ お知らせ開始 R4.1.28 申請型対象者へ振込開始 プッシュ型対象者へ振込	対象世帯 44世帯 対象児童 69人	①給付金受給の対象外となっている世帯を抽出 ②対象外世帯にも速やかに給付できた	B	新型コロナにより、収入減となった世帯には、家計の補助になった。
18	単	21	保健センタートイレ改修工事	健康推進課	①今回整備を実施する保健センターは、市で中核となる保健機能を担う唯一の公共施設であり、健康診断等の利用をはじめとし、多くの不特定多数の人が利用しているため、施設としての機能面及び衛生面を強化し、また、非接触型器具等（自動洗浄小便器、自動水栓式の洗面器・手洗器）を導入し感染症対策を図るとともに、利用者が安心・安全に使用できるよう改修を行い、施設の機能強化の促進を図るもの。 ②保健センタートイレ等改修工事費 ③工事請負費一式20,000千円 大便器洋式化（温水洗浄抗菌便座付）：8基 自動洗浄小便器へ交換：4基 車いす対応便器（リモコン式温水洗浄便座付）へ交換：1基 洗面器・手洗器の自動水栓化：5基 トイレフロアーを嵩上げし段差解消 トイレ内照明のLED化 玄関スロープ内部改修・外部増設 他 内、実施計画№18へR2予算分で16,000千円充当、R3予算分として実施計画№21へ4,000千円充当。 ④上山市保健センター	R3.11	R4.3	4,315,900	3,356,000	959,900	№15の事業と同様。	№15の事業と同様。	№15の事業と同様。	№15の事業と同様。	